

笑顔いっぱい 清里っ子



荒尾市立清里小学校便り
第8号
R2. 11. 19(木)
文責 立石 毅

スポーツフェスティバル

今年は、新型コロナウイルス感染拡大のため、5月の運動会が実施できませんでした。そこで、運動会にかわるものとして、3密にならないように考慮して、低・中・高学年ごとにスポーツフェスティバルを実施しました。

中学年（3・4年生）は、夏休み明けから練習してきた（3年生から、本格的な水泳の学習に入ります。）水泳の頑張りを披露したいと、9月25日（金）に水泳大会を実施しました。本当は、前日に実施予定でしたが、雨のため順延しての実施でした。雨上がりのプールということで水は冷たかったのですが、子どもたちは元気いっぱい泳ぎました。また、平日にもかかわらず、たくさんの保護者の方においでいただきました。ありがとうございました。



高学年（5・6年生）は、運動会で実施予定だった応援合戦、運動会で伝統的に踊っているよさこいソーランを披露したいということで、10月17日（土）の土曜授業の日に、ミニ運動会を実施しました。当日も朝から雨で、開会式は体育館で行いましたが、その後、なんとか運動場でできました。

6年生にとっては小学校での最後の運動会、少しでも思い出に残る運動会にということで、6年生は親子での技巧走、そして、5年生は、全員リレーを行いました。5・6年生のみの運動会なので、あわてることなくゆっくりと実施でき、なごやかで温かい雰囲気でのミニ運動会になりました。参加いただいた保護者の皆様、地域の皆様（当日は、清里小コミュニティースクールの委員の皆様も応援に来てくださいました。）ありがとうございました。



スポーツフェスティバルの最後は、低学年（1・2年生）のミニ運動会を10月22日（木）に実施しました。この日も朝から雨だったので、体育館で実施しました。1年生にとっては初めての運動会。玉入れや「パフリカ」のダンスをはりきって頑張り、とても楽しそうでした。また、1・2年生だけのミニ運動会ということで、一つ上の先輩2年生は、上級生としてお手本になり、1年生をよくリードしていました。

楽しい運動会でしたが、閉会式で、子どもたちから、「ミニ運動会も楽しかったけど、来年は、全校のみんなと一緒にしたい。」との感想がありました。まったくそのとおりだと思います。応援、ありがとうございました。



事故【なし】キャンペーン



今年も、10月27日（火）に4年生が、徳山さんのご協力を得て栽培・収穫した梨を、学校下の道路で警察署の方と一緒に車のドライバーさんに配りました。

当日は爽やかな天気です、子どもたちは、明るく笑顔で、自分たちで描いたポスターを持って事故【なし】（安全運転）を呼びかけました。

そしてドライバーの方に、収穫した梨を手渡すと、みんな笑顔で喜んでいただきました。

子どもたちの思いが、少しでも事故防止につながってくれればと思います。



未来文庫



荒尾市では、「子どもは地域の宝物」、みんなですぐに『人づくり』を合い言葉に、健やかに安心して子育てができるまちづくりを推進するため、平成29年度に市民の皆様からの寄付金等による「荒尾子ども未来基金」が創設されました。

そして、令和2年度からの新規事業として、その基金を財源とし、市内のすべての小中学校で、図書を購入することになりました。

清里小でも、学校司書と図書担当者を中心に図書を選定し、基金からいただいたお金で、子どもたちの未来につながる本（想像力を働かせ

楽しく読める本・学習に役に立つ本・子ども新聞等）をそろえました。

子どもたちには、市民の皆様のお考えをむだにしないように、大切に読んで、自分の夢に・未来につなげてほしいと思います。

